


Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 437

2025 年 5 月 1 日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木 1 丁目 2-45 フォレスト仙台 5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> mail:info@9jou.jp




止めよう! 大軍拡 大增税 日米軍事一体化
平和が一番! 憲法9条世界の道しるべ

5/3 憲法記念日スタンディングへ集まろう!

仙台駅西口ペDESTリアンデッキ

11:00~11:45 少雨決行



主催
みやぎ憲法九条の会
宮城県内九条の会連絡会

自公政権は5年間で43兆円の大軍拡を進めていますが、その上2月7日、石破首相はトランプ大統領との会談で「27年度よりも後防衛力を抜本的に強化していく」と約束してきました。防衛費の急拡大の下、南西諸島から西日本にかけて敵基地攻撃に対応したミサイル部隊の配置が急速に進行しています。「憲法、平和、いのちとくらしを守れ」の声を響かせましょう。大勢の方に参加を呼びかけます。参加する9条の会の皆さんは各会ののぼり旗、プラスター、横幕をお持ちください!

5・3憲法を活かす宮城県民集会記念講演

「新護憲運動ノススメ」～護憲運動は反戦運動であり、人権擁護運動である

トランプ政権の再登場、抑止力神話のもとで進む対米従属と防衛費の増額、総保守化が進む日本。今こそ軍事大国から平和大国・生活大国へ押し上げていく護憲運動の展開について戦後 80 年という節目の憲法記念日に、一緒に考えてみませんか？

日時：5 月 3 日（土・祝）13:00～（開場 12:30）

会場：アエル5階・多目的ホール

講師：瀬瀬 厚さん（山口大学名誉教授、専門は日本近現代政治軍事史・安全保障論）

入場：無料

主催：みやぎ9条懇話会（呼びかけ人会議）、宮城憲法会議、憲法を守る市民委員会、宮城県護憲平和センター

問合せ：護憲平和センター 022-222-9181 FAX：022-261-4422

* 集会後のアピール行進はありません。

「大軍拡反対請願全国署名(4/26 現在)

宮城県内 9 条の会連絡会：23 筆 他団体：0 筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約：23 筆

* 全国市民アクションの署名用紙が「税金はくらしの充実に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名(略称大軍拡反対請願署名)」新しくなりましたので、4 月 1 日よりカウントが新しくなりました。

* 署名欄付きハガキの増刷が出来上がりました。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数をお送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「〇〇市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会



提出時チェックするために大変な苦勞となっています。よろしくお願いいたします。

宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間：12時から13時まで。 実施日：5月13日、27日。6月は3日、10、24日。

5月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：5月19日（月） 12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁平和ビル前
- 石巻市：5月19日（月） 15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：5月19日（月） 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：5月19日（月） 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：5月19日（月） 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：5月19日（月） 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：5月19日（月） 15:30～ 場所：二木の松交差点
- 仙南九条の会：5月19日（月） 11:00～11:30 場所：川崎町釜房湖畔公園入口

5月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・ 名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近 ・ 涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・ 宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・ 小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23 日行動 : 5 月 23 日(金) 13:00~13:30 坂下交差点
- ・鶴ヶ谷地域九条の会 : 5 月 7 日(水) 11:00~12:00 鶴ヶ谷団地入口交差点
- ・加茂九条の会 : 場所は泉区、北環状線と仙台大衡線の交差点、ショッピングセンター「ブランド仙台」前、のぼり旗が目印。

毎週月・水・金曜日の 7:30~8:15、水曜日 14:00~14:30 の週 4 回 “ロシアのウクライナ侵略反対” でスタンディング 水曜日 : 13:30~14:00 ガザへのイスラエル侵攻反対でスタンディング

毎週木曜日 13:30~14:00 「大軍拡・大増税 NO!」でスタンディング

【県内で行われる活動情報】

吉野作造記念館憲法記念日講演会

共に生きる社会のために～最近の憲法裁判から～

日時 : 5 月 3 日 (土・祝) 14:00~16:00

会場 : 吉野作造記念館

講師 : 尾形 健さん(学習院大学 専門職大学院法務研究家教授)

参加費 : 330 円(常設展示の観覧も含む)

参加申込 : 要予約(0229-23-7100)

主催 : 吉野作造記念館(大崎市古川福沼 I-2-3 0229-23-7100、Fax 0229-23-4979)

2025 年国見九条の会つどい「戦後 80 年企画、戦争体験を聞く会」

敗戦の旧満州で 1 年間放浪した小学生

日本が起こしたアジア・太平洋戦争敗戦から 80 年です。戦争の残忍さ、外地から引き上げまでの過酷さを当時の方にお聞きし改めて日本国憲法 9 条の大切さを学ぶ会を開催します。日本の傀儡国家満州国、当時小学校 6 年生の少年が朝鮮国境の鴨緑江に遊びに行った

ときに日本が敗戦。満州国は一夜にして崩壊、各地に暴動が発生。家族の住む新京(今の長春)まで 500 キロを一人で放浪。一年後に家族と再会。

日時：5 月 10 日（土）14:30～16:30

会場：国見コミュニティーセンターホール(青葉区国見 4-4-4 JR 仙山線東北福祉大駅より徒歩 2 分)

講演：鈴木 諄さん（92 歳、元秋田県学習協会長、現宮城県学習協会員）

参加費：500 円(学生無料)

共催：国見区域の会九条の会、宮城県学習協

連絡先：022-275-7493

2025 年度前期基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」全 5 回

「吉野作造の東アジアをみる眼」

～吉野作造は中国及び朝鮮をどのように語ったのか～

政治に関する論文、エッセイや日記等の文章を読み進め、何を伝えようとしたかを「現代」から見つめたり、普段着の作造の姿をみてみましょう。中国論として「支那革命小史」(1917 年 8 月)、朝鮮論として「朝鮮統治策」(1918 年 10 月)、「第三革命後の支那」(1921 年 2 月)を読み進めていきます。

開催日：第 2 回 5/10（土）、第 3 回 6/14（土）、第 4 回 7/12（土）、第 5 回 9/13（土）

開催時間：14:00～16:00

会場：吉野作造記念館

講師：氏家 仁さん（吉野作造記念館館長）

参加費：無料（常設展、企画展別途有料）

入館料：一般 500 円 高校生 300 円 小・中学生 200 円

主催：吉野作造記念館

宮城県大崎市古川副沼一丁目 2 番 3 号 電話 0229-23-7100 Fax0229-23-4979

申込：事前申込が必要です。「氏名、住所、電話番号、参加希望日」を明示の上、電話または吉野作造記念館ホームページからお申込みください。E-mail

yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

安心して生きたい！暮らしたい！フォーラム

「わたしたちの街のことはわたしたちで」

1990年代以降、様々な分野で公立・公的な機関が担ってきた公共サービスの多くが民間委託されたり、市場に委ねられたりする中で、効率や営利が優先され、本来は住民本位であるべき行政が大きくゆがめられてきた。地域主権を取り戻し、公共の再生と民主主義の復権をめざす杉並区から学びたい。

日時：5月11日（日）13:30～16:00

会場：エル・パーク仙台6F ギャラリーホール

Part 1 報告「公立病院のあり方を問う」

Part 2 「地域主権と公共の再生をめざして～杉並区からのメッセージ」

講師：内田聖子さん(NPO 法人アジア太平洋資料センター共同代表)

主催：ともに市政をつくる市民の会

連絡先：080-3140-8785(太田)

戦争を語り継ぐ上映会（5月）

「女たちの太平洋戦争」～従軍看護婦激戦地の記録～

戦時中、アジア・太平洋の戦場に派遣された日本赤十字社の「従軍看護婦」。終戦までに召集された看護婦はおよそ3万人。その多くが国のためになりたいと自ら望んで従軍看護婦となった。幼い子どもを残して戦地に向かった女性も少なくない。しかし派遣先では、急速に悪化する戦況の中、傷病兵に十分な治療をすることは困難だった。もともと日本軍の補給体制に不備があった上に輸送路を遮断され、医薬品が欠乏。伝染病患者も負傷者も、ただ励まし見守ることしか出来ない日々が続いた。日本軍の劣勢がさらに深刻になると、完治していない者まで前線に戻され、動けない患者は置き去りにすることが命じられるようになる。そして終戦間際、連合軍に追いつめられる中で、看護婦たちを次々に惨劇が襲

う。ゲリラの襲撃、飢えや病で次々と倒れる仲間たち。戦場でおびただしい死に向き合い続けた女性たち。彼女たちの目を通した太平洋戦争の実像を描く。（2015 年）

■同時上映「戦争のトラウマ～兵士たちの消えない悪夢～」 （2025 年放送）

日時：5 月 14 日（水）10:00～12:00

会場：泉区加茂市民センター・別棟会議室

主催：戦争を語り継ぐ会 （連絡先：野原 022-378-0872）

治安維持法制定 100 年記念企画

「治安維持法」って、何？

1925 年、普通選挙法「男性のみ」と引き換えに制定。28 年には、天皇の勅令で「死刑」と「目的遂行罪」を導入。植民地・朝鮮では、独立を求める 54 名が死刑執行され、日本でも小林多喜二など多数が拷問で獄死した。

日時：5 月 17 日（土）13:00～15:30（12:30 開場）

会場：仙台弁護士会館 4F ホール

お話 1 「治安維持法って、何？」

講師：杉山茂雄弁護士（治安維持法国際賠償顧問）

お話 2 「布施辰治～生きべくんば民衆とともに／死すべくんば民衆のために」

講師：青木正芳弁護士（中央法律事務所）

お話 3 「坂 猶興～平和を求め、戦争政策と闘った医師人生・社会活動家」

講師：村口 至さん（坂総合病院名誉院長）

資料代：500 円（青年・学生は無料）

主催：国民救援会宮城県本部、自由法曹団宮城支部、日本共産党宮城県委員会、宮城憲法会議、宮城民医連、治安維持法国際賠償宮城県本部

連絡先：022-222-6458

戦争を語り継ぐ会

「ドキュメンタリー沖縄戦」上映会～知られざる悲しみの記憶～

日本で唯一の地上戦が行われた沖縄。その凄惨な戦いをほとんどの日本人が知ることなく、80年の年月が経った。本土への疎開のために多くの子どもたちが乗った対馬丸がアメリカの潜水艦によって撃沈され1482人が死亡。嘉数高地の戦いでは多くの日本兵、そしてアメリカ兵が戦死。陸軍司令部のあった首里城の攻防。さらには渡嘉敷島で起こった集団強制死。そして摩文仁の丘での牛島司令官の自決。だが、戦闘はそこで終わっていない…。沖縄県民の戦没者は122,282人。県民の4人に1人が死亡。そんな戦闘はどのようにして始まったのか？ 住民が見つめたものとは何だったのか？ その歴史の記憶を克明に描く。
(2020年公開)

監督：太田隆文、ナレーション：宝田明、斉藤とも子。上映協力：浄土真宗本願寺派仙台別院。

同時開催：「知る沖縄戦」パネル展 ～写真・絵・証言から学ぶ沖縄戦～

展示協力：沖縄平和祈念資料館、沖縄県公文書館、沖縄市、ひめゆり平和祈念資料館、戦場体験放映保存の会（戦場体験史料館）、琉球新報、沖縄タイムス、朝日新聞ほか。

日時：5月17日土～18日（日） 入場無料、5回上映、定員各80人。

上映時間：17日10：00～、12：30～、15：00～、18日10：00～、12：30～

会場：日立システムズホール3階、エッグホール&ギャラリー

主催：泉区良い映画を見る会、婦人民主クラブ宮城県支部協議会、新日本婦人の会泉支部、泉病院友の会

連絡先：野原 090-6226-2008 nohara@kind.ocn.ne.jp

いのち・愛・平和 うたい続けて28年

仙台合唱団第14回演奏会

日時：5月18日（土）13:30～（13：00開場）

会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール

第一部 「星よおまえは」「地球星歌」「死んだ男の残したものは」「その手の中に」「仙台合唱団と共に歌う合唱団」「美らうた」「地球のうた」

第二部 「若星 Z☆のステージ」「Take Me Home Country Load」ほか

第三部 「風の伝言」「道化師のソネット」「川の流れのように」「ヨイトマケの唄」「今日の続きが未来になる」

ピアノ：金子まき、南部大地

ゲスト：キャンディオーケストラ

チケット代：一般 1000 円、障がい者・介助者 500 円、中学生以下無料

当日券は満席になり無い場合があります。前売り券、取り置きはメールにて承ります。HP：<https://sendaigassyou.jindofree.com>

後援：（公財）宮城県文化振興財団 （公財）仙台市市民文化事業団

問合せ先：080-1692-4112（事務局）

片平 9 条の会 春のつどい

被爆体験者のお話と「宮城県出身の偉人吉野作造のと日本国憲法」の講演

片平 9 条の会は結成されて 19 年、日本国憲法の理念や価値、特に 9 条の戦争放棄についての学習や話し合いなど広く参加を呼びかけて開催しています。講演終了後自由討論を行います。

日時：5 月 18 日（日）13:00～16:00

会場：片平市民センター（東北大学正門右斜め向かい）

市営バス、宮城交通バス利用の方は「霊屋橋経由・八木山動物公園行」に乗車し、「東北大学正門前」下車が便利です。

お話し：木村緋紗子さん

（日本原水爆被害者団体協議会代表理事、宮城県原爆被害者の会代表）

演題『原爆被害体験とノーベル平和賞授賞式に参加して』

講演：永澤 汪恭さん（吉野作造通信を発行する会代表）

演題『日本国憲法誕生と宮城ゆかりの人々～吉野作造、鈴木安蔵、鈴木義男』

参加費：無料

主催：片平 9 条の会

連絡先：犬飼健郎法律事務所 022-262-5525

9 条の会東北交流会記念講演

外交で平和を作るとはなにか～一人ひとりができること～

トランプ米大統領になった今、私たちは世界をどのようにとらえたらいいのでしょうか！
平和が大好き、人権、くらしが大切！

日時：5 月 24 日（土）13:00～16:00

会場：プラザおでって 3 階ホール（盛岡市中ノ橋通 1-1-10）

サテライト会場：フォレスト仙台 5 階 501 号室。こちらでも無料で視聴できます。

第一部 記念講演（13:00～14:50）

講演：猿田佐世さん（新外交イニシアチブ代表、弁護士〔日本、ニューヨーク州登録〕、立教大学講師他）

第二部 9 条の会東北交流会

東北各県から、平和を守るための草の根行動やユニークで真似したくなる 9 条の会の取り組みを紹介しあいます。

入場無料、どなたでも参加できます。

参加申込：お名前、組織・団体名（またはご住所）、電話番号を事務局まで電話、FAX、メールなどでお知らせください。

主催：9 条の会東北交流会実行委員会

講演の様子は、YouTube でライブ配信いたします。

<https://www.youtube.com/live/kWzid231xqE>

問合せ先：みやぎ憲法九条の会 022-728-8812 FAX：022-276-5160

映画上映会

「教育と愛国」

知って欲しい、教科書で”いま”何が起きているのかを

日時：5月24日(土)13:30～15:30

会場：エルパーク仙台6階ギャラリーホール

参加費：1000円

主催：日本軍「慰安婦問題」の早期解決をめざすみやぎの会

連絡先：仙台中央法律事務所 090-2023-9076

【県内九条の会等の活動報告・情報】

みやぎ憲法九条の会呼びかけ人総会

特別講話「オスロから核兵器も戦争もない世界を望む」26人参加

4月26日(土)フォレスト仙台5階会議室でみやぎ憲法九条の会呼びかけ人総会が開催され、総会には20人、特別講話では26人が参加しました。総会では「2024年度の活動と決算」報告および「2025年度の活動方針と予算案」、「2025年度役割案」、「みやぎ憲法九条の会 申し合わせ一部改定案」が提案され、それぞれ拍手で確認されました。呼びかけ人共同代表には今田隆一さん(医師・新医協会長)

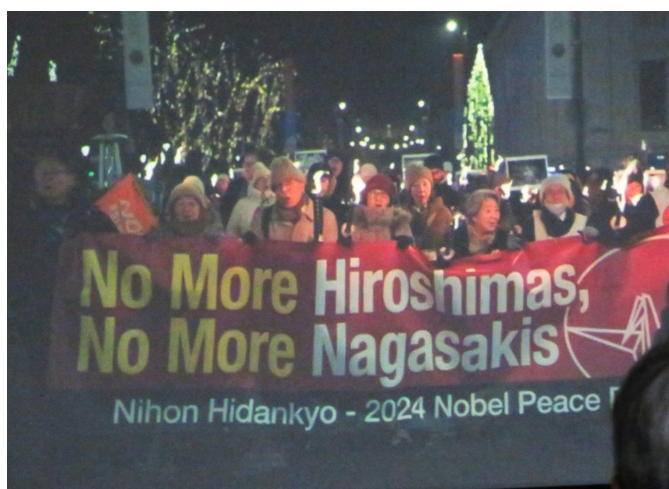


佐久間敬子さん(弁護士・東北女性弁護士9条の会事務局)、芳賀唯史さん(元宮城県生活協同組合連合会会長理事)、事務局長には板垣乙未生(東北大学名誉教授)が昨年に引き続き担当することとなりました。世話人として5名の方が退任し、新しく2人が選任され、20人の世話人体制で活動を進めることになりました。総会は「石破内閣は米国言いなり」の大軍拡を止めよう!」の県民へのアピールを採択して終了

引き続き宮城県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会事務局長の小林立雄さんの特別講話「オスロから核兵器も戦争もない世界を望む」についてお聞きしました。小林さんは、被爆二世としてノーベル平和賞授賞オスロ訪問団に参加し、オスロ市民からの歓迎の様子を動画や画像を使って詳しく紹介してくれました。

講話の冒頭に大学で 10 年ほど物理学を専攻し、放射線の人体に対する作用、DNA を破壊し書き換えてしまうことを知り、「原子力の平和利用」の考え方に疑念を抱いていた。戦後 60 年の 2005 年広島での原水爆禁止世界大会に参加した時、「広島に原爆投下されたときに救護活動に入った父親が被爆した」と被爆者の木村緋紗子さんに話したら「あなたは被爆二世ですね」と告げられ、深く調査にかかわるようになったと紹介しました。

受賞の様子やノーベル委員会のフリードル委員長のスピーチ、田中熙巳代表のスピーチをオスロ図書館に設置されたパブリックビューイングの会場で聞いたこと、受賞の翌日、会場から国会議事堂への松明行進では数百人の先頭に立って歩いたことなどを動画で紹介してくれました。



オスロでは「核兵器廃絶は被爆者だけの課題ではない。全人類の課題、ここに心を打たれた。同時に「人類の存亡が問われている。今こそ人類は正気に戻る時だ」と警告した 1986 年非同盟諸国首脳会議を思い出し、心に刻んだ。

核大国の拒否権でもって安保理が機能せず、国連の平和維持機能に疑問も出されている現状もあるが、非同盟諸国の運動と歴史に触れ 70 年前の AA 会議の「平和 10 原則」

に基づく非同盟運動が世界史の本流であり、核兵器禁止条約の力になったことに確信をもって運動を進めたいとおはなししました。